ジャグラー
2
Juggle
Ethnicle romance
Okito Endo
袁藤沖人

ジャグラー
Juggle
Ethnicle romance
Okito Endo Presents. The Eternal Organ from 70's Generation.
2

Contents

Ethnicle romance Juggle

キリム篇

003 chapter 1

037 chapter 2

アシシ二篇

083 chapter 1

121 chapter 2

147 chapter 3

195 chapter 4

231 Omake

キリム篇 chapter I

鉄血ッ
パタ
パタ

思い上がった異教徒共を撃肘するは我らが大義ッ
我に続け！
鐵血ッ
鐵血ッ

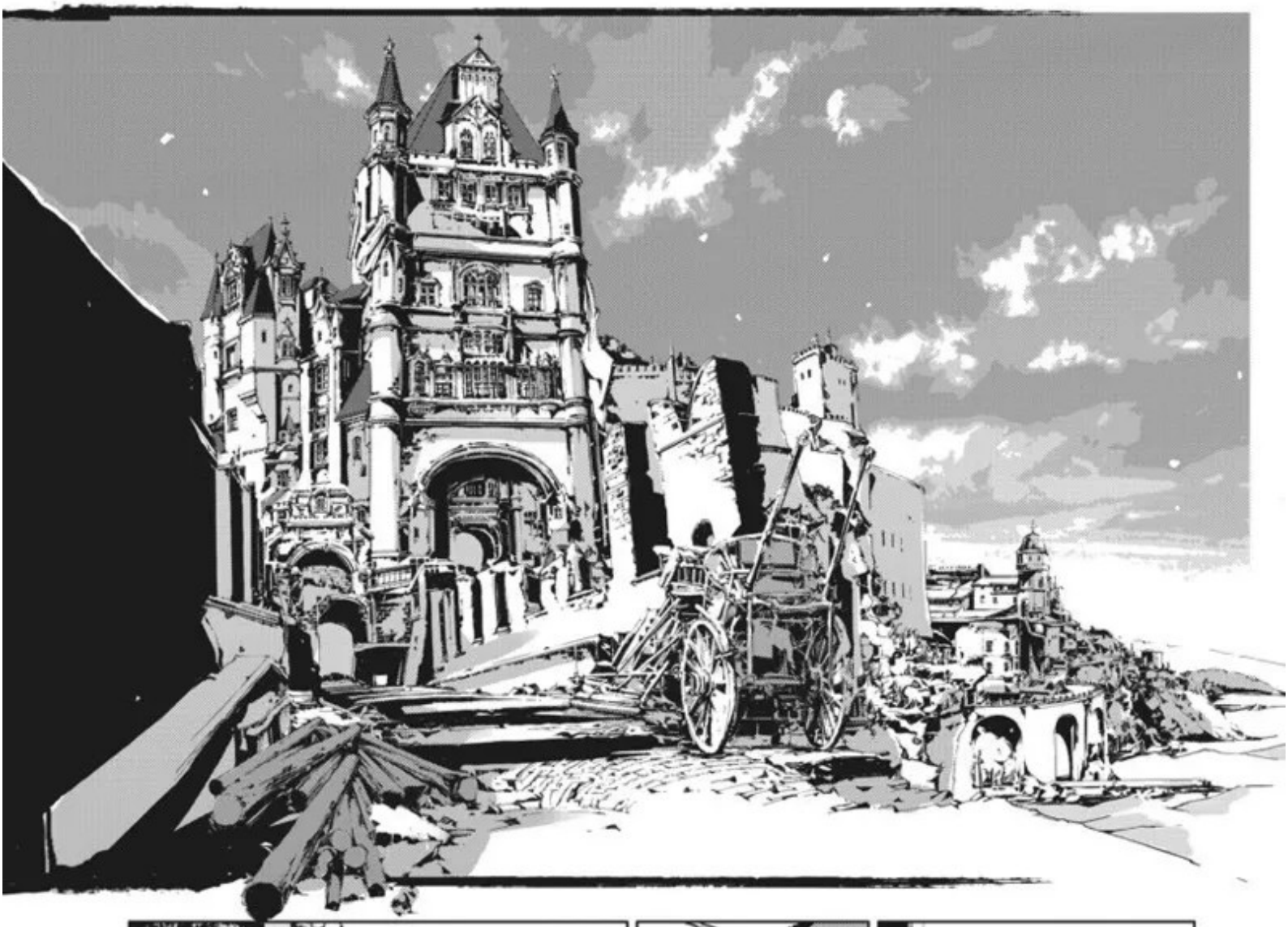
射程距離に入ります
蛮人達は猪か？
フランク族たち
無手ッ法にも程がある
いや『無鉄砲』と言うべきか

全軍構えッ
装薬ッ
よしッ
撃鉄ッ
よしッ
撃ち方用意！

パパパパ
撃てッ!!(アティースッ)
教皇の騎士達は剣を掲げ
火は一閃でパライゾの門扉を打ち破る

太陽の神兵達は
火を振るう

雷火の兵卒
史上最も早くに
火器を用いた
軍隊の名である



砦の制圧は
終えております
司教はこの奥に…
ジャンダル殿下

ご苦労(くろう)
軽(かる)いな…
カッ
カッ

大した玩具だとは
思わないか？
スッ
チャ
人の命をこうも
軽くしてしまう
ヒイッ
指先一つで
甲冑を貫き
肉を喰い破る

パン
!?
つまらん

この火薬と燧石で
成される死には
感動が無い
…つまらん
つまらん
つまらん
つまらん
つまらん
この手で斬らねば
心が躍らぬ
牙を交えねば
血潮が騒がぬッ

ひい
異境の神よ
照覧するがいい
観客は
おまえだ
演目は――

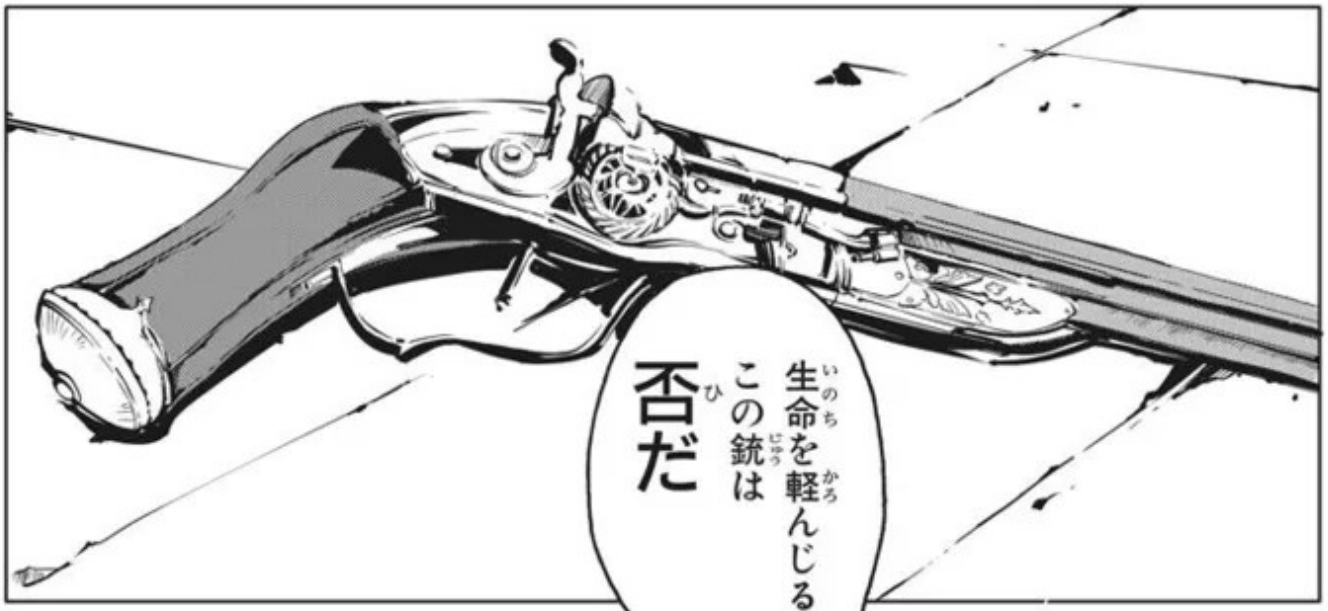
ほざけ
蛮族(ばんぞく)ッ
ガシッ

ジャグリだ
ギリ
ギリ

はっひっ
あああッ
どうした
何故逃げる？
おまえ達の神が
見ているぞ

つまらん
神も興醒めだッ

生命とは
感動を糧に
より強く燃える
火だ
イン


生命を軽んじる
この銃は
否だ

そう思わないか？
我が弟アムシャス

ジャグラ
Juggle
Ethnicle romance

※チューリップの事。中近東一帯が原産地。

花って
こんなもの…
あら綺麗ッ
砂漠の真ん中で
こんなに花が
咲くなんて

どうかね少年？
お連れの可愛い
彼女に花束を
買いでみないか？
可愛い彼女？
どこ？

ちはー
何を照れてんのさッ
黒髪の東方娘とくれば
傾城美人の代名詞
じゃないか
男ならモノに
したいでしょ？

顔近っ…
花には不思議な力があるんだよぉ
言葉要らずの想いを伝える魔法がかかってるのさ
お・兄・さ・ん♡
花を軽んじちゃあ女を知る事なんて永遠に叶わないよ
ハッ…くだらないね
あっ
……
チャリ
まいど～ッ

ところで
アムシャス様
花束ひとつで
女性の慕情が
買えるなんて
思っていませんか？
度し難い
男ですッ！
ぐぁッ
くそッ
何で俺が
こんな
目に……

半日前
ギュッ
ギュッ
ソフラープ様の事をもっとよく知りたいと？
はい…？

俺(おれ)はおまえを
笑(わら)わせるッ
あぁ…まあ
何(なん)であんな事(こと)を
云(い)っちまったん
だか……
はあ

なんでオレまで洗濯を!!
何だかなあ
今日日の殿方は恋慕事をするにも最初から人頼みだなんて
恋慕事じゃない!
はい手を動かす
なさけないですねー
意気地無しですねー
甲斐性無しですねー
よござんす!
野暮を承知で協力致しましょう
ただしッ

私…料理人になりたいんです
それで俺に買い出しの荷物持ちを？
私達は長年砂漠と荒野を流浪する民でした
定住地を持たぬゆえの問題それは……
スンスン
飯が不味いのですッ!!
ぷしゃあああ
もちろん美味しく頂く工夫はしましたけど…
甘味や野菜は夢でした
物に溢れ人々の笑いが絶えないこの国は私達から見れば一年中お祭りをしているようなものです

今日も明日も
いつまでも続く
常世のお祭りの国
ここならきっと
姫様も楽しんで
下さるものと
思っておりました
楽しんで
ないのか？
トンッ
期待してますよ
アムシャス様ッ

おぉ おぉ
何と嘆かわしいッ
末子とはいえ
一国の王子が
荷物持ちとは…ッ

商王ザハーク！

はぁ～
ほわわのわわわ

ジャグ
Juggle
Ethnicle romance

わはッ!?
白象だッ

い…行くしかねぇ…
行くぞ
あいつと関わると貧乏になる…

パク
ぞ?

ハッハッハッ
お嬢さんお乗りなさい
饗応いたしましょう
またかよ!
俺の髪ってそんなに
美味いのかッ!?

さあ
チャイでも
どうぞ

わはッ どうも
わたしチェリンと
申します
へぇ おまえ
そんな名前
だったのか
ルヤク
酷いですッ
女の敵です
こういう輩に限って
女の方から寄ってくる
から許せんな
さぁ召し上がって
ご覧じろ
甘味を食さずして
この国の食は
語れまい
おおう
ぷるぷる
してるッ！
食べ物を見て
涎を垂らす女を
初めて見たよ

うん～ッ
おいひ～ふッ
スッ
?

美しい…なんと
深く艶やかな
渥色の髪だろう
母と同じ
匂いだ
私は妻を娶らば
黒髪の東方美人と
決めていた
ぶきゅ
君が望むなら
何処の王の挙式にも
勝る絢爛の宴で
お迎え致しましょう
なんて不敬な
奴だッ

クス
チュッ
!?
スッ
ご冗談を
懸想を語らう唇は
もっと熱を帯びて
いるものです
クスッ
…ッ
ザハークの口説きを
かわした女も
初めて見たな

ところで
気になって
いたのですが
これは
望遠鏡という物
でしょうか？

あッ…あぁ
はははッ……
君は博学だ
いかにも遥か北方の
異教の国より
取り寄せた逸品だ

私はこの市の顔役でね
価格の変動
露店商人の数
出入りする荷の品定め
市で起こる全てをこうして見ているのさ

ふむ……
神は天におわし
世は全て
こともなしかな
わはッ…
すごいです
おい その辺に
しておけよ
この覗き野郎

チェリンも
覗いてご覧
交易の大動脈たる
この街の雄姿を
異教徒の遠征軍を
撃退して北路も
復興しつつある
ここは大陸の
中心と言えよう
…
ポン
もはや世界にあって
ここで手に入らぬ物
などあるまい
わはーッ
人がアリの様です

そらご覧ッ
正午の銅鑼の音と共に
北路の門扉が開く
市の始まりだ

ハァ…
お嬢さんどこから来たんだい？

ジャグロ
Juggle
Ethnicle romance

ザハークさんって
人気者なんですね
市に活気が
出てきました
人間一つくらい
取り得があるものさ
絹の道
糖の道
琥珀の道
交易の道は
荷と人を乗せて流れる
砂漠の河なのさ
さしづめ彼等は
河を泳ぐ魚だね
流れを好み
停滞した淀みを
嫌う魚

彼らはいつだって
物を作って
物を売って…
物を求めて流れてくる
物だけじゃないですよ
ジャグリだって
「大切なもの」を
くれますから
ちゃんと
ここに

しつけー
ガキだッ

うるさいねえ
別に盗もうって
てんじゃないよ
ほらッ
田舎者には
大金だろう？
チャリ
放せこのッ
衛士に
突き出すぞッ
ドッ
ドッ
ひとり身で旅をし
家財や郷土の特産品を
売りに来る者もいる
仲間もなく
言葉も通じない彼らは
たいてい鴨られる
ざわ
ざわ

だがこれも
この街の日常だ
善意は無償でない
事を知らない
商人はいない
そう思わないか？
アムシャス
何だ綱引きが
始まったぞ
娘ちゃん
負けんなーッ
くそッ
女のくせに
何て力だッ
たかが布切れ
一枚だろうがッ
ズズズ

こんのォ～
グリ
グリ
汚え手で
俺の物に
触んじゃねェ！

店を壊すな 莫迦者
ドカッ
泣くな ここは 怒るところだ
何だアンタ？
通訳さッ
う…

ふん
ふん
そこの
もみあげハゲッ
なにッ!?
よッ嫁入り前の娘が
そんな汚い言葉を
使うんじゃないよっ!
そんな性格だから
頭も薄いんだ
この八ゲっ
かっ…かーちゃん
俺折れる…
心が折れる…
反省しろ
八ゲッ
あと髭が
キモイ!
つーかあんた
絶対超訳してる
だろッ!
さて……
仕切り直しだ
ちょッ
何を勝手なッ

はァ～ッ!?
驚いた!
なんて見事な
手織物だっ!?
何だ?
掘り出し物か?
ほう…我々商人
相手にやる気か
お手並み拝見と
いこうじゃないか

この染料の
馴染み具合と
深みのある風合い
おそらく作られてから
百五十…いや二百年は
経っているだろう
稀物だ
サッ

しかし
妙だな…

中央を境に
左右異なる模様
もう一方は
『狼の足跡』
草原の遊牧民が
好んで使う模様
これは『さそり』を
模した砂漠の民の
模様だ

手織物の模様は
一族の誇りだ
異なる民の象徴が
一つの手織物に
織られるなど
聞いた事がない
贋作だよ

ざわ
ざわ
そうだ あんな田舎娘が 本物を持ち歩くものか
何が 稀物だッ
スの…
サソリと
狼…

そうか
見えてきた

サッ
婚礼

つまり草原と砂漠
二つの民族の婚礼の儀に
作られた寄贈品

成程…
それなら確かに
筋は通るが…

ギッ

駄目だなッ
話が出来過ぎで
興醒めだッ
証拠を見せろ
アムシャス
詭弁と空手形に
釣られる程 俺達
商人は甘くない

!?
……
…あった
小さいがほぼ中央にある
この模様は「櫛」を模して
織られている
成程「櫛」か…！
幸福や厄除けの象徴として
好んで嫁入りに
用いられる物だッ
ざわ
ざわ
ハッ
数世代前に
二つの民族が一つになり
今ある何処かの国になって
いるかもしれないッ
その証たりうる
この手織物
どれほど貴重で縁起良い
物だろうかッ!?

クックックックッ…
あーっハッハッハッ
アムシャスお前
芸人など辞めて
商人になれッ
買ったッ
二十金貨
出そう！

銅貨が金貨に化けたぞ…！
ざわ
ざわ
あの守銭奴のザハークが動くとは
ざわ
まさか本物…？
ざわ

お断りだッ
プッ
さぁ世界に冠たる文明文化の交叉路で目と手を競ってきた大商人諸兄ッ！
これは流れ流れて此処に漂い来たった財宝船だッ

こいつに新たな帆を立てて
熱砂の大河に乗り出そうという
勇気ある船乗りはいないかッ!?
ざわ
ざわ
お待ちッ!
そいつは私らが
二銅貨で買った
もんだよッ
はあ
はあ
そうだ返せッ
人生乗るか
反るかの
大商いに
二銅貨しか
張れない小人が
商いを騙るなッ

うッ
そうだ
よく言った！
俺達は命懸けで
砂漠を渡る
貿易商人
二十五金貨
出すぞッ！
四十五ッ！！
物は値切るが
商の魂までは
値切らねェ！
五十二だッ
五十五ッ
五十九！

手織物一枚に百二十金貨なんて…
凄い代物だったんですね
いや ありゃ贋作だよ
…え？

手織物は遥か昔から
遊牧民族固有の
貴重な特産品だった

列国の王達は
競って買い漁った
ものさ

故に贋作も
数多ある

村人の全てが
偽織物作りに
従事する

贋作工房としての
隠れ里すら
あったほどだ

そこには様々な
製法や模様の
情報が集まり

百年以上も
織り続けてきた
彼らの技術は

いつしか
本物をも凌駕するに
至ったと言われる

それが列国の
王達を怒らせた

村人は 霊 にされ
贋作は里と共に
燃やされた
おそらく彼女は
そんな里の生き残りの
末裔なのだろうよ
あの至高の贋作も
奇跡的に残った
一枚だろうさ
俺にはあの古びた
染料の染みが
血糊に見えるね

まあ
なんにせよだ
手織物一枚に
百二十金貨もだと？
そりゃ
破格だよ
わハッ…
ポカーン
……
じゅわ…
ぷしゃり

#66
あー悪い
実はさっぱり
なんだ
あんたが何を
言ってるのか
本当に
わかりませんか
チェリン…

いっぱいの笑顔で——

Ethnicle romance **Juggle**

ジャグ
Juggle
Ethnicle romance

ふふッ
人の数だけ顔がある素晴らしい国ですね
？
初めてお逢いした時…あぁ不憫な方だと思いました

よいな
常に座右にあり
傅く事だ

親しくしてはならぬ
我が一族の巫女
清廉にして無欲恬淡であれ
やがて大いなる天与を宿す依代となる日まで

つまりは
人形の世話なのだと
思いました
いつの日か
何処かの王に
玩弄される
物言わぬ人形の

金貨に宝石…
シルクと
金襴緞子の織物
東方の麝香の
いやらしい臭い
悪趣味
欲望の蔓延る
その檻に人形が
――

違う

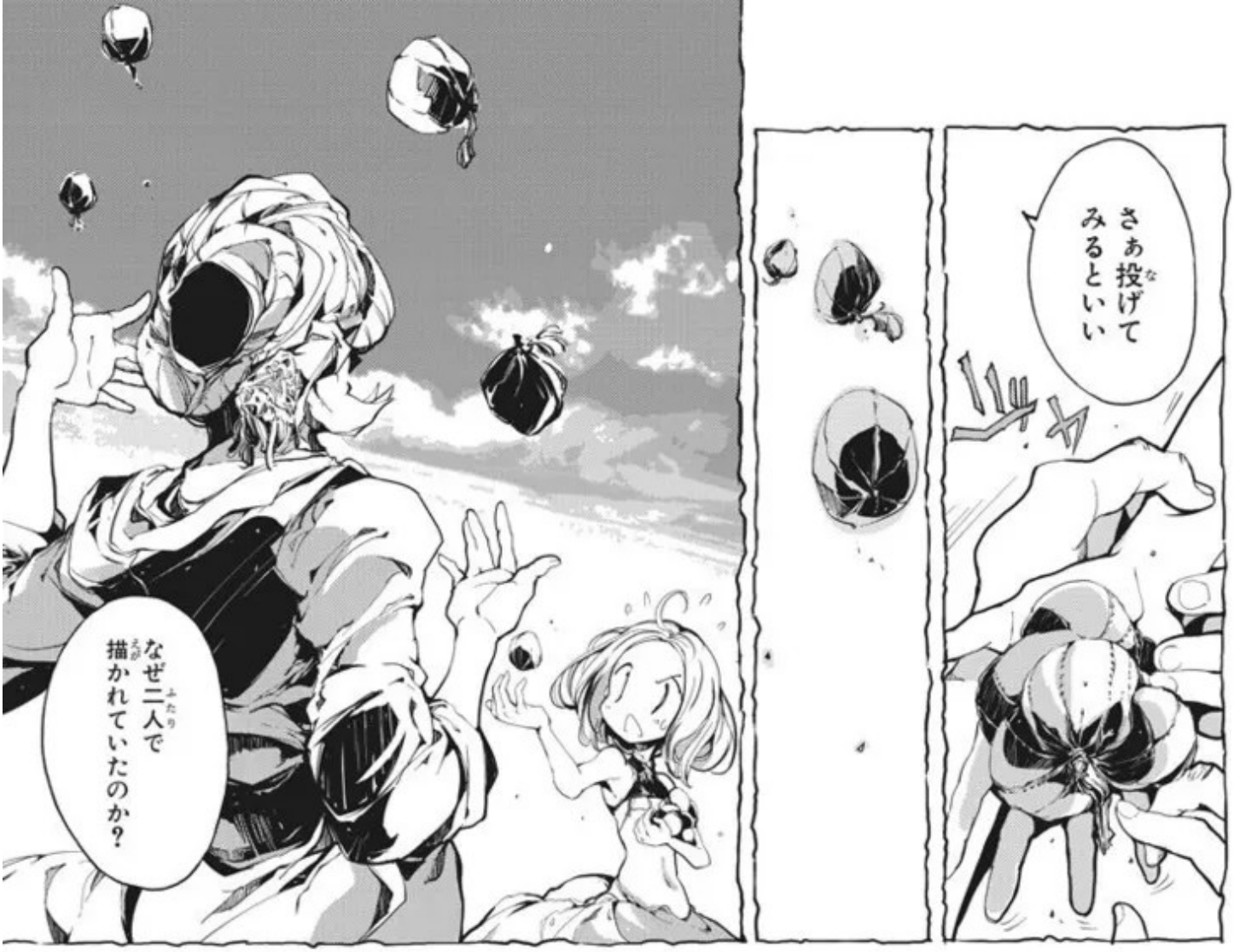
だれ？

砂漠にある国にとって
水脈は金鉱以上の
価値を有します
日々足元に積まれる
金貨 それは売られる
自分の競りの表札
ロプノールの巫女を
取り巻く駆け引きは
彼女を絶望の淵へと
追いやるにさして
時間を要しませんでした
何よりも辛かったのは
代々の姫巫女の家系
慰み者の人形の家系
母の笑顔を
一度も見た事のない
生い立ちなど私には
想像もつきません

パシャ
パシャ
こんにちは
お姫さん
つまらなそうな
顔だ……
さては誰かと
喧嘩をしたな？

西方より遠来のこの御仁……
それはこの方の星回りを左右する大きな出会いと言えましょう
別にそんな相手おりません
ゴーン
よッ

知ってる
お手玉でしょ
そんなの
何処にでもある
遊び
そうさ 世界中に
広まった遊び
だから凄いッ
ツカ!
こいつは
人が手にした
最古の遊戯だ
数千年前の遺跡に
技巧に優れた
リディア人の
残した壁画がある
二人で遊ぶ姿が


さぁ投げてみるといい
なぜ二人で描かれていたのか？

ポテッ
はぁはぁ
おっと流石に俺では五個が限界だッ

クス。。

笑ったな？つまりは楽しんでしまったわけだ
さぁ大変だッお姫さんはこの楽しみを次の誰かに伝えねばならない

伝えたい相手はいるかい？
なぁに子供は飲み込みが早い六つ八つはすぐに覚えるだろう
ならばこれは全部お姫さんにやろう
いいかい一人じゃ駄目だ
「遊び」は二人より多くとでなければいけない
相手に与え
相手から貰う
それが遊びだから
なにを？
それは――…

ザッ
ここに御出でか
砂塵王
しかし王も
目敏い事を
なさる
今から
将来の細君を
手懐けようとは

しかしそれも
我が国の繁栄の為
商人に言わせれば
これも先行投資と
言えましょうな
軍師ッ

貴様はなんでも
知っている様だが
学ぶべきだな
フッ

ハッ
……人の真心だ

姫様の期待は
膨れ上がりました
覚えたばかりの
小さなジャグリを
誰よりも見て欲しい
人の元へ

ポチ
あっ
ポチ
落としては
拾い
拾っては
落とし
繰り返し
何百と…
何千と…
ヒッ
ソフラーぷ
ペタ
くうッ！
ギュッ

その狐媚る様な顔はおやめ
気持ち悪い醜悪な顔ッ

この時もう后様は
壊れていたのです
……人形だから
間もなく后様は
亡くなられました
笑わぬ
血族の連鎖…
母は生涯娘に
微笑む事無く
…娘は母の
野辺の送りに涙せぬ

いたわりや思いやりに応える手段が笑顔なら――…ッ

それはもう暴力ですッ

おい

やだな うへへ…

なんたる醜態ッ

グワッッ
ゲワッッ
……

フォッ
フォッ

ボロボロ
姫様どうか
そんなお顔を
なさらないで
…涙を拭いて
ください
…涙？ 私が
泣いている？
何も感じない
私が？
ツゥ
その事を
忘れてしまってた
だけ
あなたは情のない
人形なのではない
…常に悲しんで
おられる方
はい 私には
頬を伝う大粒の涙が
はっきりと見えます

思い出してください
その涙を
あぁ……
おッ…お母さん
お母さん…
ごめんなさい
胸の底から
お泣きくださいッ
ごめん…なさい
ごめんなさいッ
わはぁ
なんて素敵な
泣き顔でしょう
お母さん…
葬儀で…私
泣けなか…った

泣いて泣いて
今度は腹の底から
思いっきり……
あああああッ

ほッ
アムシャス様はソフラーブ様を笑わせるとおっしゃったそうですね？
あぁ
ジャグリは楽しいですか？

あぁ楽しいよ
もうジャグリ最高ッ

うそ

心の中がいつも
土砂降りな姫様
あなたは決して
内側で笑わない人…

よしッ
この演目
喜劇で幕引かせるのは
少々骨が折れそうです
あぁ？
何だよ
いえいえ
別に

七

ドン
ドン
ドン

誰の血なのか？
どれほどの時間が凍っていたのか？
分からない…
あぁでも
みんな狂喜ってる

……決まった
ブシュ
きゃんッ
決まってないッ！
ブーン
ブーン
おもいっきり仕損じてるってのこの駄姉ッ！
おいッ
はっ
はっ
やだ!? どうしよう
おう
おう
ガク
ガク
アム様に話しかけられちゃった！こっち見てるッ
『天上の伎芸』
ジャグリの王子様ッ
えっと…
前回の公演……最前列にいた…私のこと……
あぁ…もう言葉は無粋よね私の想いは……
ブッ
ブッ
ブッ
ブッ

でもその前に…
アム様の隣にいる
女を殺さないと…
女は嫌い…私以外
皆死ねばいいのに

あの～
あたしも女…

オマエだよ
糞アマッ!!

乙女ってのはなぁ
遠くから見守る
ものなんだよ!
それが
純愛だよ!!

隣を歩いて
彼女面すんな
この売女ァ!

ああもう
女は死ねッ
全部死ねッ

まずはオマエ
からだッ!!

だめだめ
アンタは今回
観客だよ

黙って
観てなさいッ

ぐあッ

みんな死んだら
誰がお母ちゃん
産むんですかッ!?
ズッ
……
別にいいんじゃないの？
人間が滅んで
世界はスッキリ
たった一人の女を
奪い合って
街が国が
世界の男共が
殺し合う
でも…そうね
その前に戦争が
起きるの
その言葉になぜか
私は姫様を
思い浮かべました

そして最後に
勝ち抜いた
一人の男が残るの
まるで
獣ね
!?
おがあああああっ
そして
こう言うの
世界はこんなにも
小さくて粗末なモノ
だったのね…って

ああてもその時の殿方がアム様だったら……

私は…ッ もう……ッ

わかります その気持ち

スッ

!!?

ナニソレ わかるの!?

ラ〜ッ!

あっでも アムシャス様のは粗末じゃないですよ

ヒュュュ

結構…

…ありがとう

でも嫁入り前の娘がそんな事言っちゃいけませんッ

あら こう見えて貴方より年上ですよ

青春の労苦と引き換えに豊富な経験を積んでます

マジで!?

ある意味 こっちの方がショックだ…

思えば ソフラープもマユもみんな年上だし……

ほほほ 若い若い

貴女の妄想とよく似た境遇の方を私は知ってます

余人より価値のある人は崇拝される一方で権力と暴力で蹂躙されるもの神様というのもそんな存在なんでしょうね

でも…貴女と
姫様は違うッ
だからッ
!?
あの方はどんなに
打ちのめされても
待ち続けてる
人間を信じて
いるんだッ
ここで
アムシャス様を
失うわけには
いかないッ
姉ちゃん!?
七首ッ!?
自刃用の懐剣
覚悟を背負う
者の証かッ！

そうかい
殺る気があるなら
そう言えよッ
ゲッ
ゲッ
アムシャス様 この身が
刃を引き付ける隙に
お逃げくださいッ
私の事は
ご心配なさらず
どうか姫様に
光明をッ！

ありがとうな
でも…おまえに
ヤッパは似合わない
俺の背中で
じっとしてろ
すぐに終わる
その華…無駄に
散らすなド阿呆がッ
俺が
ジャグリだけだと
思うなよ

ジャグル
Juggle
Ethnicle romance

んじゃ
いくよッ
ガッ
ギリ
接吻(キス)して
あげる♡
カーン
カーン
カーン
フッ

!!!
いらないねッ

シャリ
…使えない娘
悲鳴!!
おまえたちもお行きッ!!

人を喰らい
親兄弟を殺め
神をも堕とす
理を捧げた我等……

楽園に尽くす者

ほえぇッ

ゆえに我等
逸脱者ッ

バッ
ギュッ
パッ
ギュッ
パッ
!?

あー
引けッ
……

不可解
死地に陥れた者の態度とは思えない
ありえない
芽生える猜疑
あれは罠か？
身構えろッ
タン
興醒めだ
こんな手品の初歩に囚われるとは

サッ
この娘(こ)
まだ息(いき)がある
助(たす)かるかな…
グイッ

陳腐な
ハッタリだこと
ひえッ
何をしてくれるのかと
期待した私が興醒め
それに その出血じゃ
もう意識が朦朧としてる
いるんじゃない？
ふぅーッ
ガッ
でもいいわよ
この娘
助けてあげても
!!!!

わたしの
××××に接吻なさい
命を捨てて助けようと
するんですもの
何でもするわよねぇ？
ええ
そうでしょうとも
家畜の様に這って
服従の証を
さあ

してみせろッ!!

おのれ
よくも…ッ

グッ
グッ
……

チェリン
おまえは俺に覚悟を見せてくれた
今度は俺がおまえに見せる番だ
だめえ!!
そう…まさぐって
早く…!
アムシャス様ッ

そう…
もっと上へ
ヒュッ
…って
上過ぎ…ッ
ヨウイハイイデスカ？
ウアアア

あれ!? 違った?
女の身体は不慣れで
よく分からなくてさッ
あへッ
ヘッヘヘッ

イイねッ
こんなに感じた接吻
初めてだぁッ!!

ふ…ッ

悪い
ここまでだ
くすッ
貴方らしいです
フッ
諦めるのか?
女ひとり守れず
諦めで人生を
締めくくるのか?
えッ?

リュウ
カラ
カラ
あッ…
あぁ

逝くのは童貞を捨ててからにすることだッ

あッ 阿呆だッ

空から阿呆が降ってきたッ

俺は――ッ!!

道化ッ

俺は…

この背中を知っているッ

かつて奴隷商団の討伐を買って出た男が何をしている？
王子たるもの父王以外の者に膝を屈してはならぬ
まして戦士とは敵を胸に晒し女を背に抱く者
口で囀るな
胸をそらし
背中で語れッ

ふんッ

はぁっ

はぁ〜

ピチャ

ふぅーッ

ふぅーッ

チェリン…
前言撤回だッ

童貞のお遊戯は
卒業しないとなッ

見ててくれッ

フッ

おまえ達は
アシシニではない

というかこんな
弱いアシシニがいて
たまるかッ

……

第一本物が
ここにいちゃあ
おかしいんだよ

伝説に彩られた
死神軍団
睨まれたら最期
見敵必殺の人間兵器
それがアシシニだ
なのにこいつら
ときたらどうだ?
白昼街中で喚き散らす
珍妙な愚連隊
夜盗の方が幾分マシだ

黙れ！
楽園に至る報酬こそ
我等の生き甲斐
……
理を排した我等が
紛い物とでも
言うのかッ!!

その楽園は
何処にあるんだ？

大麻の煙の
向こうだろう

ジャグラ
Juggle
Ethnicle romance

ハシシ…？

思い出せ
おまえが思い描いた
楽園…そしてそれを
蝕み歪ませたものを
わッ…私の楽園？
男共を…争わせ…
最初に思い描く…
楽園？ そんなもの…

!?

アシシニ篇 chapter3

姉ちゃん凄いよ
人が蟻のようだッ
なんだかみんな
楽しそう
ここの王様は
変わり者らしいけど
治安の行き届いた
いい国だからね
ガヤ
ガヤ
キュ

長い旅だったけど
もう放浪民の生活は
終わり
三人で
夢叶えるよッ

…でも……ッ

金ならいいから…ほらッ
駄目よッ

食べるかい？

ギュ

ふーッ

施しは嫌かい？
その矜持は立派だよ

あんたらはまだ幸せだよ
飢え死にしそうに
なった事はないだろう

別にあたしだって善人面して生きてきた訳じゃないさ…でもね
あッ
ほらッ
ガッ
両の手にパンと…
コーコー
矜持
天秤はどちらに傾くかい？
クルッ
ゴクッ

あッ
グウウウウ
カァアアア
あはははは
正直な娘だね
幸せ者と不幸者が見る夢の重さは
同じ天秤じゃあ量れないもんさ
不幸者が見る夢の方が重く尊いもんだと負け惜しみを言ってあたしゃ生きてる
胸を張って頑張んなッ
ニッ
?

私の夢…あんた達の笑顔があれば私はそれで……
パチッ
パチッ

お願いですッ
何か仕事を下さいッ
仕事ねぇ…
男手なら欲しいところだけど
ジュウウウ
なんでもやりますッ
…なんでもねぇ
ふぅ
ザッザッ

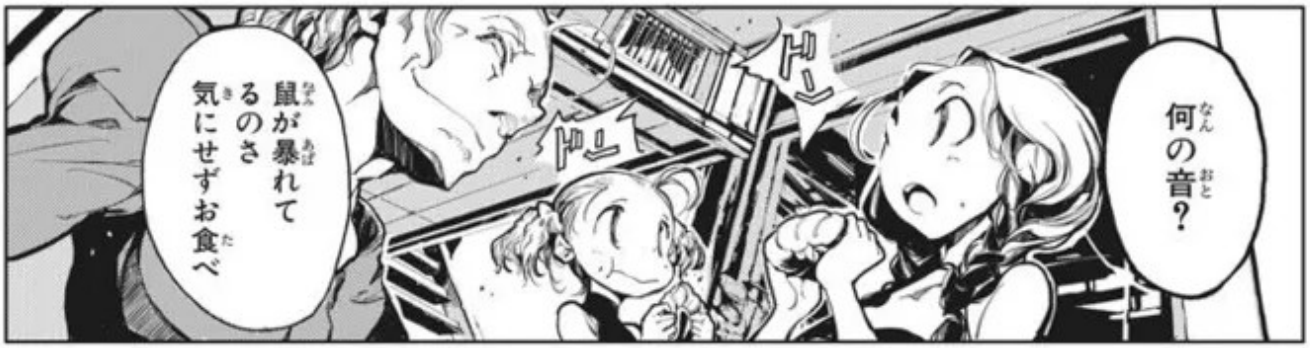
ZZZ
笑ってな

帰ったよ〜っ
フゥ
!?
おぉ来たか…って
なんだまだ子供かよ
いいじゃねえか
オレは好きだぜェ
だ誰ッ
!?
あの娘達はッ
バッ
下でおまんまの
最中さ
見てみなッ

いい身分だよなァ
姉ちゃんの苦労も
知らないで
!?

何って？ ここは元からそういう宿さナニもなしによそ者を雇うわきゃないだろ
な…何をッ!?
これがおまえの本当の仕事さッ
だッ騙したのか
あの女衒……ッ

暴れんな
ガキに感づか
れるッ
グッ
いいじゃねえか
そっちの方が
面白ェ
見せつけて
やろうぜ？


何の音？
ドン
ドン
鼠が暴れて
るのさ
気にせず お食べ

「なんでもやる」
とはこういうことさ
胸を張って頑張んな
ニヤァ

なんだッ
なんだこれはッ？
なんなんだッ!?
ふぅーッ
ふぅーッ
ふぅーッ
欲しかったのは笑顔
秤にかかるのは矜持
ふぅーッ
私の天秤は……

決まっている

きゃ
きゃっ

ばっ

ポン
あたしゃ
つくづく
善人だよ

こうして
身寄りのないあんた達を
賄ってやってる
いいかい
不幸を糧に
幸せを得る
これは正しい
人の在り様さね

ただ幸福だけを
求めるという
ことは
自分の負うべき不幸を
誰かに擦り付けると
いうことなのさ
自分の汚物を
他人に擦り付ける
ようにね
醜いと思わない
かい？
ほら
しっかりお食べよ
あんた達の対価だ
モグ
モグ
姉ちゃん
食べないの？
旨いよ

もう長くないねぇ
この娘は……
其処な
お嬢さん

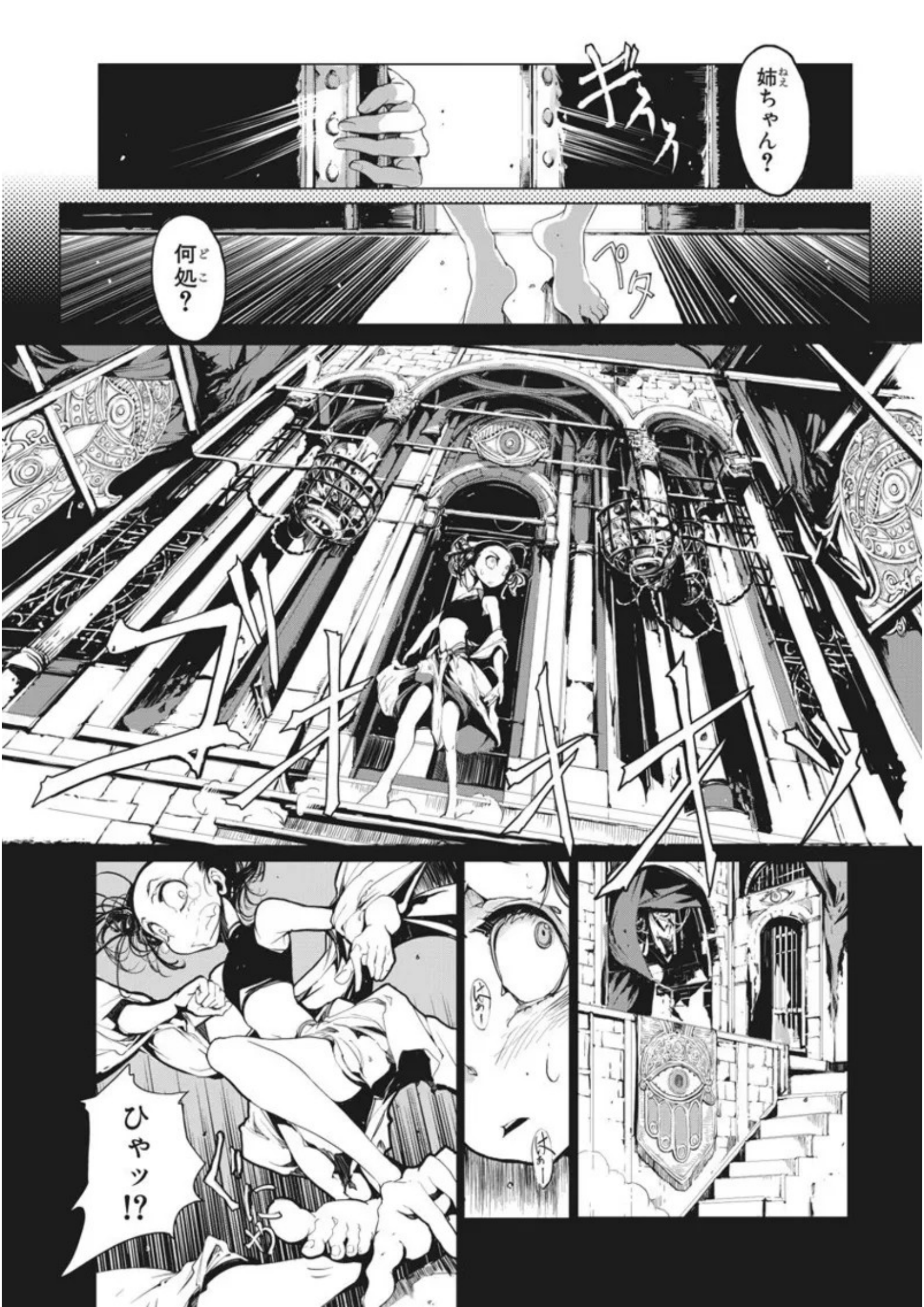
カッ
カッ

楽園を覗いて
みないかい？

……
最近姉ちゃんおかしいよ妙に楽しげで…
そ～？でもそれっていい事だよここが楽しいの今が楽しいの
…うんそうだな

スリ
スリ
ニッ
ギュッ
ギュッ
チュッ
ブチ

アーーー
あっ


ギィィ
姉ちゃん？
ペタ
何処？
ひゃッ!?

ビク
おぁ〜〜ッ
なんだよ
此処ッ
ゲホ
ゲホ
!?
ギュ
あッ

ガブッ
んぐッ

ビチャ
グチッ
ブチャ
うッ

ゲフゥ
オゲェェェ
んぐ
ガッ
げふぅ
げひゃひゃ
ズザ
もうやだッ
姉ちゃんッ
ダッ
姉ちゃん
何処ッ！
ビクッ
ぎゃあぁあ
あああああ

まッ待てッ
わかった悪かったッ俺達あの女衒に頼まれただけなんだ
ほッ本当は嫌だったんだぜ健気で良い娘に…

そ…そうだ！
俺の本妻にしてやる！
放浪民なのに籍が手に入る
そうしようッ
俺はおまえの事を
愛していッ
ストト
ザッ
ぎゃあああああッ
姉…
ちゃん？
糞虫が……

消えろ
消えろッ
糞虫ッ
あはッ…
あはッ
あはははッ

あはははははははははッ!!!
パチッ
はぁーッ
はぁーッ
はぁーッ
フゥ
ひとごろし
みなごろし
ブッ
ブッ
ブッ
たべて
さかって……
またころそう…
いじわるするひと
いなくなれ――…

ふぅーッ
グッ
グッ
はぁーッ
はぁーッ
うッ
うぐッ
がッ…
ゲホッ
ゲホッ
ほほッほッ
喧嘩はよくないネ
ここは楽園
なのですヨ
カッ
カッ
みんな仲良く
悦楽に
身を委ねマショウ

これは楽園に
咲くハシシ
吸えば貴方も
すぐミエル

さあ思い描いテ
君の素敵な素敵な
楽園の幻想ヲ
ﾊｯ

ﾊｯ
私のせいだッ

はぁーッ
はぁーッ

甘えて甘えて甘えきって…
私が姉チャンを
化物にしちゃったんだ

いつも三人だって
思ってたのに……
あぁッ
あッ
あぁッ
GARRR。
ゴメン
こんなになるまで
ひとりにして…

あぁ 思いだした
私が最初に描いた楽園は
三人そろって……

あッ
あぁッ
あッ…
痛い…
痛いヨ…

あぁ
あぁ

生殺(なまごろ)しは
不憫(ふびん)だ
うぁあああッ
ガク
うッ
うぇ
苦(くる)しまずに
去(い)ねッ

駄目ッ
チャッ

庇うか？
妹を
それでいい
お前はまだ
人に踏みとどまれる
なぜこと…
ギッ
言うと思ったか
この屑共がッ!!

この期に及んで
人間面するな
狂酔は大いに結構
だが酔いが醒めたら
“すいません”か？

ハシシに逃避して
良民に牙を剝く
一方で
死ぬ気で狂えもせぬ
逸脱者にもなれぬ
屑共が人を気取るな

貴様らは
畜生だ
畜生風情が
情を弄ぶなッ

本物を見せてやる

遅れ馳せ
ご容赦あれッ
あああ

はッ
ヒュッ
おかあ

おい…
何(なに)…やってん
だよ……
ぎゃあ
ガク
ガク
おまえら…
何(なに)やってんだよ

ダッ
御意ッ
チャッ
殲滅しろ
チッ

ねッ

ねぎぃい

ひぃ…いいい

屑(クズ)は屑(クズ)に

塵(チリ)は塵(チリ)に

タッ

うえええん
やだよ
怖(こわ)いよおお

ほう
おまえらいつから赭面(あくやく)になった?

ジャグ
Juggle
Ethnicle romance

アシシニ篇 chapter4

俺たちいつから
赭面になった？
あぁ？
殺した殺した
沢山殺したッ
もう
うんざりだ
フランクを退け
戦が終わった
神の賛辞も
異教の鎮魂歌も
聴こえなかった

もう殺すのはうんざりだ
今度は笑わすんだ
明るく照らすんだってアラギュン立ち上げたんだろうがッ
するごとがないなら俺に手を貸せ皆の太陽になるんだッ

ズドッ
!?
何処まで辱めれば気が済む…？
何も持たぬ何にもなれぬ我等からこれ以上何を奪えば気が済む？
お願い…もう許して…
アムシャス様…
カラン
…いいさもう出る血も残ってないそれにッ

刃に突かれるは
盾の役目だ
狂ったか
魔が差したでは
済まされんぞ

違うねッ　こんな
捻じ曲がった厄介な
強敵はそうはいない
こいつら国の恥部だ？
最下層の
ゴミタメだと？
誰も
そこまではッ
そんなやつらを
笑顔にする
心を晴らす……
それができるのが
ジャグリじゃないかッ

ヒュ
さがれッ
ガッ
えッ？
えッ？

!?
ふーッ
ふーッ
ガッ

…手加減は？
はあ、
ふう
するものか
ふう
なら初めてだ
兄貴から一本
取ったのは…
粋がるな
折れた刃を
突き立てたくらいでな
カラン

よぉ
待たせたなぁ
アシシニたちッ

俺には
おまえらは救えないッ
哀れんでもやらないねッ
ボタ
ボタ

ザッ

ただ
そのかわり
命を賭して
遊んでやるよ

あーはっは
そうさ我等はアシシニッ
偽者でもいいッ
大麻に作られた
偽りであろうとも
このスリルと
享楽に満ちた楽園を
手放すものかあ!!
楽園は逃げ場じゃない
それに気付けば
何処だって楽園だ
うッ
くうう
ううう
うーッ

さぁ来いよ
舞台はいよいよ終幕だ
おまえらの一切合財
全部ひっくるめて
相手してやるよッ
ふッ…
ふふ…
ふッ…ふふふ
素敵ね…
本当に素敵…
ゆらッ
姉ちゃん…
お望み通りその命
ぶっ散らして
やるよぉぉッ!!

はあ
おいッ
アムシャス！
マユがあんたに
これを渡して
くれってさッ

……
ブンッ
ブンッ
痛いッ
痛いッ
…ありがとな
バッ
!?

大丈夫
今ならまだ
助かるよ

ザッ
はぁ…
はぁ…

おねがい
助けて……
うっ
うっ

姉ぢゃんを…
だずげでッ

あいつに
任せておけ

随分と信頼して
おいでですこと
私たちには道化の
ような真似を
させておいて
ような ではない
道化が今回の
俺たちの配役だ

しかし誰が……
アシシニは先王の
治世で廃されたはず
居るな
魔窟に巣食う
悪鬼どもが

おぉ なんと
嘆かわしいッ
片や残忍
片や道楽
あんな驕児が
上座に座せば
国は滅びる
しかし
アシシニは
やりすぎでは……
あれは早すぎたのです
もっと時間をかけて
育てるべきだった
だが代わりは幾らでもいる
今の私は商人だ
大麻の仕入れ先には
事欠かない

この国にはもう
貴方しかいないのです
至尊の座をお取りなさい
そして…
ゴクッ

カン
カン
カン
カン
何(なん)だ？

団長様の剣舞か場外興行とはよくやるねぇ
おいあれ本物の剣だろ…ヤバくないか？
なんか凄い……
はぁーッ
はぁーッ
いいね おまえら筋がいい団員にならないか？
はぁーッ
ふざけるなッ！殺すッ！貴様の肉片を国中にバラ撒いてやるッ
ガラ
!?

ほっ

パッ

下を見てみな

わぁーッ

わぁーッ

わぁッ

みんな俺たちを
見てる まるで
舞台の上だ
楽園も天国も
そりゃ
結構だけど
俺たち自身が
今この瞬間
誰よりも輝く太陽だッ

うううッ
ぞくッ
ぞくッ
ぞくッ
陽が落ちたらまた地べたからやり直しだけど

そん時やまた
這い上がればいい
それが太陽だからな
そうだろ？ 出てこいよ
引き籠もりの魔神ッ!!
外は気持ち良いぞ？

どうした
死にかけにしては
随分と元気じゃが
助太刀が欲しいか？
妾はランプの魔神
アーリ・マンユ
願わば万象
叶えるぞえ!!

ハッ
願いなんか…
無いッ!!

よおッ

ズッ
はぁー
つっかれたー
お手玉（アストラガリ）か
コク

遊(あそ)んでみせて
くれないか？
それ

ほら

ベチッ
へたくそ
でも世界で
一番すばらしい
ジャグリだ

そう… ただ傍で 笑ってあげるだけでよかったんだ

Ethnicle romance Juggle
Okito Endo Presents. The Eternal Organ from 70's Generation.

ジャグ
Juggle
Ethnicle romance

OHAGI-KAN PRESENTATION THE ETRNAL ORGA
悠久イスタンブール白書
後篇
著者代理
Soul Brothers
魂の双子
おはぎさん
本篇取材と称して行って来ました。イスタンブール1週間旅
ニャヒ♡
ポリ
ポリ
とは云えもう2年前の話なんだよネ
忘れちゃった♡
野武士逃げろ!!
2009年4月
トルコ共和国
イスタンブール
ヒョオオオ

トルコ風呂入りました
グランド・バザールの近く
くッくッくッ
中世を思わせる木造の更衣室から浴室に入ると
番台
ハァ
ハァ
ペタ
ペタ
天井から光が!!
まっ白なドーム状の空間
すげぇ〜〜
ジャバ〜ッ
湯船はないので流しで体を洗います。サウナですネッ
ペタッ
ビクッ
いやまあ分ってましたけど
ドオ
ジャワ
ジャワ
ジャワ
MU-NA-GE
わッ…わたしが泡に!?

HAHAHA
ここは厳格なイスラムの国
HAHAH
昭和生れのそこのあなたの幻想をブロークン♡
私も昭和生れですけど
やら〜
やらよぉ
ズ
ズ
ズ
ズ
アツッ
アツイでござる
アツアツの大理石のテーブル
岩盤浴托チイイ!
ギュム
ギュム
ギュム
ひょおおお
豪力マッサージ
ついに俺のターン
チップあるでよ
えッ?あれ〜〜〜ッ
次の日筋肉痛確定
でも痛キモチイイのでした
……
!?
ぬぐ
Hey!! wait!!
スッ
チップを渡すタイミングって難しいです。初の海外では特に……
確かに腰巻一枚の浴室で渡されても困るだろうし
こんな感じ
スッ…と腰巻に挟めばよかったかも!?
……すいません
ダンッ
でも受け取ってもらえましたよ

次の日
ドルマバフチェ宮殿
Excuse me!!
?
アラブ系の人に写真を頼まれてしまった
Please take the PhotoGraph
It consented
カシャ
Sey cheese!!
何処から来たのか聞かれたので日本と答えたら…
From which country did you come?
Tokyo Japan
Baghdad
バグダード
I not fear
こちくないよ
え〜〜ッ
めっさ楽しそ〜〜
Thank you!
そしていよいよ残りは帯在最終日
からかわれてしまった

その夜
暇潰しのネットタイム
トルコはお国柄か
You Tubeが弾かれます。
たまたまっ
日本のニュースは…
クサナギ全裸逮捕
……？
FMV
カタ
カタ
でもニコ動は見れた
ジャパンよ…
VAIO
最終日は喰うぜ!!
焼きさば
レモンと玉ネギ
イスタンブール名物？
サバサンド
トルコの上にはブルガリアがあるので
ヨーグルトゃチーズ等の乳製品がおいしいッ
ドンドルマ（トルコアイス）はキャラメルっぽい濃厚な味だった
あと観光客相手にきめポーズしてくれる店のおじさん…のりよすぎッ
ネバ〜
ニャー
描がいっぱいいん
気になるお店も沢山ありました
高級店の並ぶ新市街
さらに謎は深まる
SUSHI@
Japanese
Chinese
Thai
すしアドラック
寿司大人気!!
美味しい…
んむぐッ
んむぐッ
素料を味わえ
けどレモンが酸っぱいのと塩味ベースで少し淡白調味料漬けのハンバーガーに馴れてると物足りないかも
YUTAKA
豊
Japanese restaurant
ジャパンレストラン…トルコで寿司!!
地中海のネタは新鮮そうだ!!
ここは親日国なのでいろんな所で日本語を目にできる
大成建設
ちょい不思議だがそれがよい!!

■ありがとう御座いました■

Ethnicle romance **Juggle**

ジャグリ

Postscript

■あとがき

背後から詰(なじ)ってくれる子悪魔っ娘大募集

Ethnicle romance **Juggle**

連載前のキャラデザ絵です、マユには世を忍ぶ人間姿版もありました。

ちまちま描きました、女の娘を描いて悪魔っ娘を描いておっさんとモブと背景を描いて幸せ満喫です!!　絵描き奴隷に生まれて、毎日眼から血涙が出るほど幸せです!!
作画は第一話から最終話まで全て自分ひとりで描ききりましたが最後の単行本編集を手伝ってくれたOni-yanさんありがとう、君が初めてのアシさんだッ

チェリンが成人したら多分こんな感じになると思う

ジャグリ2巻を読んで頂きありがとう御座いました!
それではまたの機会にッ、またどこかでッ!!

2011.10 高階卓人

本書（電子版）に掲載されているコンテンツ（ソフトウェア／プログラム／データ／情報を含む）の著作権およびその他の権利は、すべて株式会社アスキー・メディアワークスおよび正当な権利を有する第三者に帰属しています。法律の定めがある場合または権利者の明示的な承諾がある場合を除き、これらのコンテンツを複製・転載、改変・編集、翻案・翻訳、放送・出版、公衆送信（送信可能化を含む）・再配信、販売・頒布、貸与等に使用することはできません。

電撃コミックス

ジャグリ②

2012年12月27日　配信

著者　袁藤沖人

発行者　塚田正晃

発行所　株式会社アスキー・メディアワークス

〒102-8584　東京都千代田区富士見1-8-19

(C)OKITO ENDO 2011